



岳 風

< 学 校 教 育 目 標 >

- ・生活の向上に役立つ学力を身につけよう
- ・人と自然を思いやる心を持とう
- ・強い身体と正しい心で結び合おう

弟子屈町立弟子屈中学校 (http://teichuu-7.hs.plala.or.jp/) 令和5年4月25日発行 No.1

目標に向かう姿勢

令和5年度 5月行事予定

童話「ウサギとカメ」より

校長 小林 一博

4月7日(金)に令和5年度の入学式を行い、41名の新入生を迎え、全校生徒123名、全教職員23名にて弟子屈中学校の令和5年度の学校生活が本格的にスタートいたしました。

私、今年度4月より勤務いたしました小林 一博です。生徒思いでバイタリティ溢れる本校教職員と共に、微力ではありますが、地域と本校生徒の成長のために精一杯努力して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

令和5年は、卯年です。そこで、新しい学年及び環境でのスタートにあたり、目標の大切さについて、「ウサギ」にちなんだ例から紹介いたします。表題の童話「ウサギとカメ」とは、皆さんも知っている有名なお話です。皆さんは、この話から学ぶ本当の教訓は何なのか、わかりますか。

このお話のポイントは、「ウサギは、どうしてカメに負けたのか」と言う場面です。もし、あなたが問われたら、どう答えますか。

私も含めて皆さんの多くは、「ウサギは、いつでも勝てると油断があった」「この話の教訓は、人生油断してはいけないという戒めである」と答えるのかも知れません。

ただこれは、この教訓の本質的な解釈で言えば、「零点の答え」なのだそうです。

このお話の真の教訓は、「カメにとって、相手はウサギでもライオンでもよかったはず。なぜなら、カメは一度も相手を見ていない。カメは、旗の立っている頂上、つまり自分の目標だけを見つめて歩き続けた。一方のウサギは、カメのことばかり気にして、大切な自分の本当の目標を一度も考えることはしなかった」のだと。

皆さんに気づいて欲しいことは、ウサギは、油断したのではなく、元々の考え方が間違っていたのです。この時、ウサギが、カメに負けなかったとしても、誤った考え方を改めない限り、その後の人生においてもどこかで同じ過ちを犯し、真の成功者にはなれなかったと思うのです。

一方、カメの方は、実力通りウサギに負けたとしても怯むことなく、自分のことを卑下することなく、どんなに時間がかかっても自分の真の目標に向かって確実に前進し、達成できたと思うのです。皆さんは、どちらの生き方が素敵だと思いますか。

間もなく大型連休がスタートします。新しい生活からの身体と心の疲れを一時癒やし、生活リズムを整えて、連休後から始まる本格的な学校生活での真の目標を明確に定めて、カメの如く確実な歩みを進めて欲しいものです。

最後になりましたが、保護者の皆さまには、生徒達の健やかな成長と望ましい人格の向上のため、今令和5年度の学校運営に際しまして、変わらぬご理解とご協力の程をよろしくお願いいたします。

日	曜	行 事 予 定	給食			通学バス					下校 時間
			1	2	3	登校	町営	阿原仁	和琴	部活	
1	月	部活動休養日	○	○	○	8:10	16:05	16:05	16:05	-	15:40
2	火		○	○	○	8:10	16:05	16:05	16:05	18:05	15:40
3	水	憲法記念日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	木	みどりの日 開校記念日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	金	こどもの日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	土	週休日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	日	週休日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	月	全校朝会 1・2年二者面談(-12日) 部活動休養日	○	○	○	8:10	14:50	16:05	16:05	-	14:40
9	火		○	○	○	8:10	16:05	16:05	16:05	18:05	15:40
10	水	3年修学旅行結団式 部活動休養日	○	○	○	8:10	16:05	16:05	16:05	-	15:40
11	木	3年修学旅行①	○	○	-	8:10	14:50	16:05	16:05	18:05	14:40
12	金	3年修学旅行②	○	○	-	8:10	14:50	16:05	16:05	18:05	14:40
13	土	3年修学旅行③	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	日	週休日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	月	3年振替休業 部活動休養日	○	○	-	8:10	14:50	14:50	14:50	-	14:40
16	火		○	○	○	8:10	16:05	16:05	16:05	18:05	15:40
17	水	生徒総会 職員会議	○	○	○	8:10	14:50	14:50	14:50	-	14:40
18	木		○	○	○	8:10	16:05	16:05	16:05	18:05	15:40
19	金		○	○	○	8:10	16:05	16:05	16:05	18:05	15:40
20	土	週休日 PTA環境整備	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21	日	週休日 少年の主張弟子屈大会	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22	月	町研教育研究大会 部活動休養日	-	-	-	8:10	11:50	12:00	12:00	-	11:40
23	火	歯科検診 団学活・団活動開始	○	○	○	8:10	16:05	16:05	16:05	18:05	15:40
24	水	団練習 いじめアンケート 研修 部活動休養日	○	○	○	8:10	14:50	14:50	14:50	-	14:40
25	木	3年弟子屈再発見final発表会 団練習 委員会 PTA合同役員会	○	○	○	8:10	16:05	16:05	16:05	18:05	15:40
26	金	分掌会議 部活動休養日	○	○	○	8:10	14:50	16:05	16:05	-	14:40
27	土	週休日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28	日	週休日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
29	月	団練習 部活動休養日	○	○	○	8:10	16:05	16:05	16:05	-	15:40
30	火	団練習	○	○	○	8:10	16:05	16:05	16:05	18:05	15:40
31	水	研修 部活動休養日	○	○	○	8:10	14:50	14:50	14:50	-	14:40

- ※ 変更があった場合は、「安心メール」でお知らせいたします。
- ※ 暴風雨等による臨時休校の場合、6:00~6:30に「安心メール」を配信しますので、ご確認ください。町教委の判断で前日の連絡となることもあります。
- ※ 小学校との調整で、阿寒バス（原野・仁多、和琴）の時間が遅くなることがあります。

令和5年度 弟子屈町立弟子屈中学校 いじめ防止基本方針

弟子屈中学校では、「いじめは絶対に許さない」という強い信念のもと、「いじめ防止基本方針」を策定しています。その中から抜粋して、「いじめの定義といじめに対する本校の基本認識・基本姿勢」を掲載しますのでご確認ください。なお、全文につきましては、学校ホームページに掲載いたしますので、ご確認ください。

◆ いじめの定義といじめに対する本校の基本認識・基本姿勢

「いじめ」とは、本校に在籍している生徒に対し、本校に在籍している等の一定の人間関係のある他の生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネット等を通じて行われるものを含む）であり、いじめを受けた生徒が心身の苦痛を感じているもの。

学校では、「いじめ」を訴えてきた生徒の立場に立ち、この「いじめ」の定義にかかわらず、その訴えを真摯に受け止め、生徒を守るという立場に立って事実関係を確かめ、対応にあたる。

（いじめ防止対策推進法第2条参照）

「いじめは、どの学校でも、どの学級でも、どの生徒にも起こりうる」という基本認識に立ち、本校の生徒が、楽しく豊かな学校生活を送ることができる、いじめのない学校をつくるため、「弟子屈中学校いじめ防止基本方針」を策定した。

<いじめ防止等のための基本認識>

1. いじめは人間として絶対に許されないという強い認識に立つ。
2. いじめ問題に対しては被害者の立場に立った指導を行う。
3. いじめ問題は学校の在り方が問われる問題である。
4. 関係者が一体となって取り組む必要がある。

<いじめ防止等のための基本方針>

1. 学校、学級内にいじめを許さない、見過ごさない雰囲気をつくる。
2. 生徒一人一人の自己有用感を高め、自尊感情を育む教育活動を推進する。
3. 生徒、教職員の人権感覚を高め、生徒と生徒、生徒と教員をはじめとする校内における暖かな人間関係を築く。
4. いじめを早期に発見し、適切な指導を行い、いじめ問題を早期に解決する。
5. いじめの早期解決のために、当該生徒の安全を保障するとともに、学校内だけでなく保護者・地域、関係機関との連携を深める。
6. いじめが解消している状態に至った場合でも、いじめが再発する可能性が十分あり得ることを踏まえ、関係した生徒について、日常的に注意深く見守っていく。

新しく着任した教職員～よろしく願いいたします

この度の人事異動で、弟子屈中学校には、3名の教職員が新しく赴任しました。生徒理解に努め、生徒にとって通いたい学校、保護者・地域にとって通わせたい学校、教職員にとって働きたい学校となるよう、一丸となって頑張ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

小林 一博 校長

（北海道教育大学附属釧路義務教育学校より転入）

嶋田 晃治 支援員（弟子屈小学校より転入）

今井 範和 公務補（会計年度職員）